

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	33	学校名	武蔵高等学校
------	----	-----	--------

社会的役割等 (スロー・ミッション)	生徒の個性や能力の伸長、知識や技能の定着に取り組む高校として 校訓「うまず・おくせず・たくましく」のもと、自走力を高める教育活動を通して 調和のとれた人格の形成と、地域社会の発展に寄与できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	教科の学習や特別教育活動を通して、調和の取れた人格を形成することにより、高い志をもち将来社会の発展に寄与できるリーダーの育成を目指す。		
3つの方針 (スロー・ゴ・リゾ)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 夢や希望に向けて自ら学習や部活動に励む生徒 自分で正しい判断や行動ができる生徒 地域に愛着を持ち地域の発展に貢献できる生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 知識や技能の定着と、学ぶ意欲、学ぶ習慣の育成 一人一人の個性や能力の伸長と自走性の育成 ふるさと教育やSDGs教育の実践を通し、課題を解決する力の育成 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 自分で目標を定め、自走性を発揮し、勉強や部活動に意欲的に取り組む生徒 自他の違いを認め合い、心の優しさと強さを持った生徒 ふるさとを愛し、地域の様々な課題解決に積極的に参画する生徒 	
学校の抱える課題	自ら考え行動できる自信と勇気を持つ自走性に富んだ生徒たちを育てていくための体制の充実と、地域や保護者と連携した具体的な活動の構築と実践。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	地域教育力で育つ生徒の自走性養成をスローガンに、教職員の力量を高め、多様な進学方法と進路選択ができる学校をつくる。	
	学習指導	学びの基礎診断を活用して個に応じた授業を展開し、PDCAの(自走的な)学習サイクルやICTを活用して主体的な学習態度を育成する。	
	進路指導	生徒の自己理解力を育成し、主体的な進路選択のもとに自己実現を達成する。	
	生徒指導	一人ひとりの生徒と向き合い、各教員の生徒理解のもとに健全な発達を促す。	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	出退勤管理システムへの正確な打刻によって教職員の在校時間を適切に把握・管理し、支援することで長時間勤務の解消を図り教育活動の質の維持・向上を実現する。		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A.B.C.D	成果と課題	総合 評価 A.B.C.D
学校経営	学習や特別活動を通して、生徒一人ひとりが活躍できる場を創出するとともに、お互いの良さを認め合う機会の充実を図る。	施策I-1	・自己評価アンケート				
	勤務時間を遵守する意識の定着と業務の平準化と効率化を推進する中で、教育活動における水準の維持・向上に務め、持続可能で質の高い学校経営を実現する。	施策IV-27	・学校運営協議会等での評価				
	すぐるやSNSなどを活用した情報発信で地域や保護者の学校への理解を深めるとともに、PTA懇談会や保護者懇談会を通じて学校への要望に誠実に応える。	施策IV-20	・生徒の卒業時アンケート				
	多様な研修機会を企画し、教科指導、生徒支援、進路指導、探究学習などに関するスキルアップを図る。	施策IV-26	・研修内容の豊富さ、回数				
学習指導	「高校生のための学びの基礎診断」等の結果をもとに、学力向上に関する課題を定期的に分析・共有し、主体的な授業態度と学習姿勢の育成に向けて授業改善を推進する。	施策II-8	・自己評価アンケート				
	年次や学科ごとに学習における課題と評価基準を明確にし、少人数指導や習熟度別指導等きめ細やかな対応を通して、目標達成までの計画的かつ反復的な学習の定着を図る。	施策II-8	・学校運営協議会等での評価				
	ICTを活用した授業改善を推進し、一人ひとりの理解度や進度に応じた個別最適な学びと、他者と協働する学びを通して、主体的・対話的に学ぶ態度の育成を図る。	施策II-9	・生徒の卒業時アンケート				
	地域課題の解決をテーマとした探究学習を組織的に運営し、生徒に探究的な姿勢を身につけさせるとともに、ふるさと教育の充実を図る。	施策I-4	・成績推移				
進路指導	キャリアナビで自己理解と社会貢献への意識を高め、その学びと問題意識を基に、面接や小論文などで評価される多様な入試(総合型・推薦型)に対応した指導体制の充実を図る。	施策II-8	・自己評価アンケート				
	地域の産業界や関係機関と連携した授業(架け橋)や探究学習(総探・課研)を通して、将来の生き方働き方を考える力を育むキャリア教育を推進する。	施策II-13	・学校運営協議会等での評価				
	学習指導、補習指導、資格取得の充実を図り、個に応じた指導により学力の向上を図り進路実現を達成する。	施策II-8	・生徒の卒業時アンケート				
	地域行事や社会体験を通して、社会の一員としての自覚を養成し、夢や希望をもって将来の生き方やあり方を考える機会を提供する。	施策II-14					
生徒指導	週1回の定期的な生徒情報共有する会議を開き、生徒の抱える問題に対して、学校全体で連携し、迅速できめ細やかな個別最適な対応を行う。	施策I-3	・教育相談面談				
	自分や他者の命の大切さを理解し守る意識を育むため、人権教育や交通安全にかかわる教育活動の充実を図る。	施策I-2	・自己評価アンケート				
	担任と生徒が面談する教育相談週間に加え、日常の様々な場面での対話を通して生徒理解に努め、必要に応じて外部機関(SC,SSW、県市、子相など)と速やかに連携する。	施策IV-23	・学校運営協議会等での評価				
	教職員の総意に基づく生徒支援を基盤とし、生徒がロールの意味を理解し自律することで変化する時代に自らの判断で自分を守ることのできる生徒を育成する。	施策III-19					

来年度に向けての改善方策等 実施日：令和9年 月 日 学校関係者評価 実施日：令和9年 月 日

--	--